



འབྲུག་རྒྱལ་ཁབ་

ブータン便り

2018年11月7日
第2号

クズザンポーラ！ブータンに来て2週間が経ちました。到着後すぐに JICA ブータン事務所で現地研修が始まりました。ボランティア連絡所（ドミトリー）を拠点にしながら、少しずつこちらの生活に体を慣らしています。

ブータン入国

成田空港から出国して、タイ・バンコクでドゥックエアアーに乗り継ぎ、ブータン・パロ空港にて入国しました。パロ空港は標高 2,240m、山岳地帯の谷底にあり、離着陸の際はパイロットに高度な技術が要求される、世界で一番着陸が難しい国際空港といわれています。飛行機が着陸態勢にはいると、山と山の間をぬうように右に左に機体を傾けながら高度を下げていきました。窓から外を見るとすぐ近くに山がせまり、機体が山肌に触れてしまわないかと、ドキドキしました。



無事着陸した乗客を出迎えてくれたのは、ロイヤルファミリーの写真でした。現第5代国王と王妃、そして2016年に誕生した王子です。このようにブータン国内のお店や建物には、国王や国王夫妻の写真や肖像画がいたるところに飾られています。国民の国王に対する深い敬意と愛情の表れだと思います。

空港では JICA ボランティア調整員が迎えに来てくれました。ここから JICA の車で首都ティンプーへ 50 km、1 時間強の距離です。車から見える景色は、谷に沿って田畑や民家が点在しており、日本の里山を見ているようでした。

JICA ブータン事務所



ティンプーに到着してからすぐに JICA 事務所で研修が始まりました。事務所にはボランティアのお世話をしてくれる調整員 2 名を含む日本人スタッフ 9 名と、ナショナルスタッフを合わせ、計 20 名が働いています。生活や業務など様々な面で支援してくれるので、大変心強く安心して活動できます。実は先日軽い捻挫をしてしまったのですが、事務所の健康管理員にすぐに処置してもらえて助かりました。

ボランティア連絡所（ドミトリー）

現地研修期間中は JICA のボランティア連絡所（通称：ドミトリー）で生活しています。

ドミトリーは、地方のボランティアや新隊員着任時の一時宿泊、情報交換、または緊急時の避難・集合場所として使われています。寝具や台所用品など必要なものは全部揃っています。

今は同期隊員と 2 人で慣れない自炊に奮闘中。4 週間の研修が終わると、それぞれの任地・住居へ移るので、ドミトリーでの共同生活はいいウォーミングアップになっています。



次号では、研修のことやティンプーについてお伝えする予定です。なお、この「ブータン便り」で取り上げてほしいテーマがありましたら、倉敷市国際課にお知らせください。